

2020 年度統計関連学会連合第 1 回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2020 年 4 月 25 日（土）15:00 – 16:50

場 所：オンラインにより実施

出席者：

【学会連合理事】

理事長	岩崎 学
応用統計学会	富澤貞男, 松浦正明
日本計算機統計学会	足立浩平, 小木しのぶ
日本計量生物学会	松井茂之, 大橋靖雄
日本行動計量学会	岡太彬訓 (委任状)
日本統計学会	川崎 茂, 山下智志
日本分類学会	栗原考次, 富田 誠

【連合大会実行委員会】 山本義郎, 飯塚誠也

【連合大会運営委員会】 藤野友和, 久保田貴文

【連合大会プログラム委員会】 富田 誠, 坂本 亘

【JSD 編集委員長】 青嶋 誠

幹事 阿部貴行, 石岡文生, 大草孝介

組織委員会・審議事項

0. 前回議事録の確認

前回の組織委員会の議事録が確認された。

1. 2020 年度連合大会運営方針について

- ・ 岩崎理事長より、新型コロナウイルスの現状を勘案した 2020 年度連合大会の実施方針に際して、国内の統計関連学会のいくつかの大会の実施方針が説明され、山本実行委員長より、現状での連合大会の準備状況が説明された。組織委員会および各学会代表の理事の間で実施方針について意見交換が行われ、次の点が確認された。
 - 現時点では、連合大会を通常通り開催するよう準備するが、状況に応じて実施方法を適切に判断する。現地での開催が中止の場合はオンライン開催を第一選択とする。
 - 現地で参加できない参加者のために、オンラインによる実施についても組織委員会が並行して準備する。オンラインの併用により、現地での参加者数を抑えられ参加者間の距離を保てる利点もある。
 - 組織委員会は、並行セッションの実施・管理手順を含め、オンラインによる連合大会の実施方法のオプションを具体的に立案し、連合理事会に連絡する。
 - 5 月に連絡する連合大会第三報では、オンライン開催の可能性について言及する。

- オンライン実施時の各発表内の著作権の管理については、他学会の管理手順も精査し、適切に対処する。
- 事前参加申込みの開始は8月前半とし、それまでに連合大会の実施方法について最終的な意志決定を行う。
- ・ 富田プログラム委員長より、本年の連合大会におけるプレナリーセッションの内容について説明があり、審議の結果、承認された。

2. 2020年度連合大会3委員会における進捗状況について

- (1) 富田プログラム委員長より、資料として提出された連合大会第三報（案）に沿うかたちで大会概要の説明がなされた。また、以下の通り意見交換が行われた。
 - ・ 第三報の公開日及び講演申込・報告集原稿提出・事前参加申込の日程について、ほぼ例年通りのスケジュールである。事前参加申込み開始日は、8月前半に変更する。
 - ・ 第1回プログラム委員会において、21件の企画セッションが承認された。更に本日、山下理事から、日本統計学会による企画セッションが追加で申請され、審議の結果、承認された。
 - ・ 統計関連学会連合プレナリーセッションは、英国から研究者を招聘して行うためビデオ講演になる可能性がある。
 - ・ 完全オンライン開催の場合のチュートリアル・市民講演会の実施方法について、組織委員会で検討を継続する。
 - ・ 坂本プログラム副委員長より、コンペティション講演の申込が年々増えており、将来的な実施方法の再検討の必要性について説明がなされた。本年もプログラム委員ですべての審査をカバーするのが困難である可能性が高いことから、必要に応じてプログラム委員以外からも審査員を若干名選出する。オンライン開催の場合の審査手順についても説明がなされた。
 - ・ 会議後記録：プログラム委員について、日本統計学会から、永原裕一委員から佐藤整尚氏への変更依頼があり、審議の結果、承認された。
- (2) 山本実行委員長より、実行委員会の構成、会場、懇親会、託児所について報告が行われた。また、以下の通り意見交換が行われた。
 - ・ 学会会場や懇親会について、キャンセル料が発生するタイミングを調べ、適切に対応する。
 - ・ 託児所について、新型コロナウイルスの影響で現地と連絡がつかない状況が続いている。連合大会第三報には間に合わないが、分かり次第、連絡する。
- (3) 藤野運営委員長より、連合大会の予算案が提出され、オンライン開催の場合には予算案に変更が生じる可能性がある旨が説明され、審議の結果、承認された。また、大会の進捗状況及び予算案に関して、以下の通り報告があった。
 - ・ 本予算案は、現地開催する場合のものであり、参加者数などは昨年と同様と見積もった。
 - ・ 予算案の収入における補助金については、外国人参加者数により金額が変化する可能性があり、当該項目が最も大きな予算の変動要因である。

- ・ 予算案の支出において、参加登録や Web システムなどの外注業者をアトラス社に変更したが総支出額は前年と同様である。現地において、自動受付システムを導入する予定である。
- ・ 昨年同様、組織委員会運営費と連合サーバー使用料を予算からそれぞれ 70 万円および 10 万円支出する。

連合理事会・審議事項

0. 前回議事録の確認

前回の連合理事会の議事録が確認された。

1. 2019 年度事業報告・会計報告について

- ・ 岩崎理事長より、2019 年度に統計関連学会連合が実施した事業について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。
 - 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
 - 2019 年度統計関連学会連合大会の開催
 - Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
 - 科学研究費補助事業令和元年度研究成果公開促進費（国際情報発信強化）採択に伴う措置
 - 統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施
 - 各種事業への共催・後援・協賛
- ・ 石岡幹事より、2019 年度の会計報告について説明があり、審議の結果、承認された。また次の通り補足説明があった。
 - 収入では、今年度から JJSD 発行に伴うロイヤリティー収入（約 36.4 万円）が新たに追加され、支出では、JJSD に関連する業務が増えたためシンフォニカ業務委託費を 3 万円から 10 万円に増額した。単年では黒字の収支であった。なお、残金のうち 300 万円は連合大会からの預かり金であり、非常事態の際に支出可能なものである。

2. 2020 年度事業計画について

- ・ 岩崎理事長より、2020 年度の統計関連学会連合の事業計画について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。
 - 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
 - 2020 年度統計関連学会連合大会の開催
 - Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
 - 事業委員会、統計教育推進委員会の開催
 - 統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施
 - 各種事業への共催・後援・協賛

連合理事会・報告事項

1. JJSD の現状について

青嶋編集委員長より、JJSD の現状について次の通り報告があった。

- ・ 新型コロナウイルスの影響もあり、投稿数や採択率に若干の変動はあるものの計画通りに雑誌を発行している。
- ・ 特集号は、2021 年度 6 月（高頻度データに関するもの）および 2021 年度 12 月（生存時間解析に関するもの）を企画・出版する予定である。
- ・ JJSD の広報活動の一環として、大草幹事が Twitter 広報を担当し JJSD の情報を発信している。Twitter 名（現在は、JJStatsDataSci）は今後わかりやすいものに修正予定である。また、Springer 社により JJSD のフルアクセスキャンペーンが行われている。
- ・ 広報の成果もあり、統計分野の雑誌における JJSD の雑誌のダウンロード数が増加した。当該分野のダウンロード数トップ 10 に JJSD に掲載された 3 論文（Adachi K and Trendafilov NT; Bunji K and Okada K; Ishii A, Yata K and Aoshima M）が入った。

2. 2020 年度連合理事会・組織委員会の日程について

- ・ 岩崎理事長より、第 2 回を 2020 年 9 月の連合大会開催中に、第 3 回を 12 月頃に、第 4 回を 2021 年 4 月に開催する旨、説明が行われた。

3. 後援・協賛について

岩崎理事長より、前回理事会から本日までに、次の事業・会議に後援したことが報告された。

- ・ 日本品質管理学会、日本統計学会「第 9 回科学技術教育フォーラム」の協賛
- ・ AIMaP 事業の共催出展「イノベーションジャパン 2020」
- ・ 2020 数理科学重点大型計画「数理科学の新展開と諸科学・産業との連携基盤構築」
- ・ JST 戦略研究推進部「数学と諸分野の連携にむけた若手数学者交流会」後援

次回連合大会組織委員会及び統計関連学会連合理事会：

2020 年 9 月 12 日に統計関連学会連合大会終了後に開催予定